

知ってますか？

地下で頑張る『暗きょ排水』

暗きょ排水というものをご存知でしょうか。

人の目に触れない暗い土の中で、土中の水位を調整している施設です。

「きょ」とは漢字で「渠」と書き、水路とか溝という意味で用いられます。

雨が降った翌日にグラウンドが乾いたりするのにも、気温や水はけが良い土の他に、暗きょ排水が大きな役割を果たしています。

山形県の多くの田んぼには暗きょ排水が設置されています。乾かしたいときは水が抜けるようにパイプの栓(水こう)を開け、水を溜めるときは栓を閉めることで、農作業がしやすくなります。

しかしながら、設置から何年か経過してパイプの周りを覆っているモミガラが腐食してくると、水の抜けが悪くなってきたり、空洞化した溝に田植え機がはまってしまうなど、対応の作業が増えてきます。

昨年にモミガラを足す試験をした2ヶ所の田んぼを4月13日に調査しました。昨年の秋以降開けていた栓(水こう)を12日の夕方に一旦閉め、当日昼頃に開けて水の出かたを確認しました。調査した日は、3日前から降水量がほとんどない状況でした。

1ヶ所目は、川に近く表面に水がほとんど確認できない田んぼで、比較した隣の田んぼよりも出てくる水量が少ない状況でした。2ヶ所目はまだ表面に水溜りがある田んぼで、隣の田んぼよりも多く水が出ました。土中に残っている水の量も関係することから、水の出かただけでの判断は困難でした。

今後とも、耕作者の協力を頂きながらフォローアップ調査をしていきたいと思ひます。



辞令交付式

農地地すべり巡視員辞令交付式

地すべり防止区域の適正な管理と県民の安全安心のために、県が委嘱している巡視員の辞令交付式が行われました。

巡視員の方からは毎月1回その他、緊急時(長雨や地震等)に点検・報告をして頂いています。特に緊急時には自らの安全を第一に考えて、無理はしないようお願いしています。

このように地元の方からの協力を得て、地域の方の暮らしが守られています。



ミズバショウ

鶴岡市茨新田にて

だんだん暖かくなってきて、ミズバショウも顔を出してきました。
ここはミズバショウが群生する貴重な湿原で、地元の方がこの湿地等の保全を行っています。

以前ご紹介しましたが、小学生と地元の方の意見を取り入れて設計を行った、ほ場整備事業の保全池付近にあります。

小学生は昨年度ミズバショウの種による増殖試験(播種作業や定期的な観察)を行っていて、今年度も引き続き行う予定です。こちらの情報は今後掲載予定ですので楽しみに♪



桜だより1

花曇り

例年より春の訪れが遅い庄内でもいよいよ桜が咲き初め、春の農作業も始まりました。

春の陽気という感じではないのですが、満開になるのを待ちきれないのか、提灯の飾り付けが終わった桜の木の下で、元気な子供たちは遊びに夢中になっていました。

あいにくの曇り空で遠くの山は霞んでいますが、今年も例年通りに桜が咲き、農作業できることに改めて感謝したい気持ちです。

これからも通勤や仕事の途中で見かける桜の情報を届けたいと思います。



「がんばろう東北！がんばろう山形県！」

今年も完成しました。

「メダカライス純米酒」

第39回メダカの学習会で紹介した庄内町家根合の地元NPO関係者が田んぼにメダカを放流して育てたお米を使い、毎年地元酒造会社で「メダカライス純米酒」を作って販売しています。
そのお披露目会が4月22日に開催されました。

県の事業実施がきっかけで立ち上がったNPOの方達の活動は、引き続きご紹介させていただきますのでぜひご覧ください。



〔好評発売中！！〕

詳しくは庄内総合支庁 農村計画課 事業担当まで。

「がんばろう東北！ がんばろう山形県！」

出発！

岩手へ

庄内総合支庁産業経済部から被災地支援隊として5人が岩手県山田町へ出発しました。

4月26日、正面玄関にてセレモニーが行われた時の様子です。

現地では役場業務の支援(住民台帳データの照合等)や救援物資の仕分け作業を行う予定です。

身体に気を付けて頑張ってくださいという気持ちで見送りをしたところです。



私達も何ができるか、何をすべきか考えること、そして自分達ができることを『続ける』ということが大切です☆

「がんばろう東北！がんばろう山形県！」

暖かくなりました。

農作業の様子

5月の連休は晴天に恵まれ、平地では田植えが始まったところもありました。J1のモンテディオ山形にプリントされている”つや姫”のほか、ほぼ毎年食味「特A」評価をうけている”はえぬき”など山形の美味しい米がこうして作られていくのです。

今年のはなかなか気温も上がらず、また、融雪も遅れたことで中山間部は農作業が例年よりも遅れ気味のようです。苗や水の管理、畑や果樹の作業と重なったりと、農家の方はこれからも大変な日々が続きますが、頑張ってもらいたいと思いました。



田植えが始まりました



代かき作業の場所もあります



中山間地では遅れ気味

七五三掛での営農再開！

あれから2年

平成21年に発生した大規模な地すべりにより集落や水田などにひび割れが生じた七五三掛(しめかけ)地区ですが、対策工事により現在は地すべりも沈静化しており、今年には水稻の作付が可能となりました。

1ヶ月前までは2m位の積雪がありましたが、この日から耕起作業が始まり、13日には直播による田植えを行なうということです。
作付する水田は、全体の約2/3ほどですが、復興に向けた動きが着実に進んでいます。

”大吉桜”も見ごろを迎え、注連寺(ちゅうれんじ)脇の”七五三掛桜”も咲き始めたばかりですので、是非、ご覧いただきたいと思います。



復旧前



復旧後



大吉桜



「がんばろう東北！がんばろう山形県！」

「エイ、エイ、エイッ！」

西郷北部地区 安全祈願祭

5月10日、西郷北部地区経営体育成基盤整備事業(ほ場整備)工事の安全を願い、「エイ、エイ、エイッ！」と声を張り上げ、鍬入れを行いました。

担当者として身の引き締まる思いです。



「がんばろう東北！がんばろう山形県！」

泥だらけ

大きくなあれ

5月11日、鶴岡市内で小学生が田植えをしているのを見かけました。
大泉小学校の授業で、5年生と3年生が学校田で手植えを行なったものです。

泥に脚をとられて転びそうになったり、投げた苗のしぶきが顔に掛かったりと、笑顔一杯の作業風景でした。校長先生も子供たちの姿を見て楽しそうに作業をされていました。

近くを通りかかった園児も小さな先輩に声援を送っていました。



天候にも恵まれました



楽しく話をしながら



園児の声援もありました

「がんばろう東北！がんばろう山形県！」

見頃ですよ。

咲いていました。

鶴岡市千安京田「いいいの村庄内」のチューリップと鶴岡市下田沢「かたくり園」のかたくりの花が見頃を迎えていました。
花っていいですね。癒されますね。
まだ行ったことがない方はぜひ！



かたくり園入り口(吊り橋です)



「がんばろう東北！がんばろう山形県！」

海が見える棚田

農業体験 鶴岡市暮坪

5月15日(日)に暮坪自治会主催で、毎年恒例の田植え体験が開催されました。
子供から大人まで暮坪地区住民約40名が参加し、泥だらけになりながらみんなでワイワイ作業を行いました。
子供達は田植えが終わるとイモリの捕獲に夢中になっていました。



今回田植えをした田んぼ以外はこれからのようです。
みなさん、景色をみるだけでもオススメの場所ですので、ぜひ1度足を運んでみてくださいネ！

待ってました！

七五三掛の田植え

七五三掛地区の直播きがいよいよ5月13日から始まりました。
8条植えの田植え機により約1haに「里のゆき」を直播きしました。
その復興の田植えを祝うように、七五三掛桜も満開となっています。
近くには山の恵みもいっぱい出てきているとのこと！



「がんばろう東北！がんばろう山形県！」

ほぼまん丸

月あかり

19時頃に仕事を終えて外に出たら、きれいな月が出ていました。水田に映る月の美しさと、近くで鳴く蛙の涼しさに、“農村っていいなあ”と改めて感じました。

明日も天気が良いようなので、もっときれいな月になりそうです。私もきっと…



「がんばろう東北！がんばろう山形県！」

『風車市場』

新鮮一番

庄内町(旧立川町)の国道47号線沿い”風車市場”で
5月28日(土)・29日(日)に開店10周年感謝セールが開催されます。
今が旬の山菜や新鮮な野菜など地元のものも販売されます。
1000円以上のお買い物をされると、抽選で何か当たるかも。

ちょっと足をのばしてのぞいてみてはいかがでしょうか？！

風車市場
開店10周年感謝セール
開催日: 5月28日(土)・29日(日)
店内では新鮮な地元産野菜や山菜が大特価!

試食コーナー
◎山菜料理
◎地産地産カレー
◎スイーツ 和菓子

催し物
◎おたあめ作りコーナー
◎あめすくい
◎もちつき【4/29日(日)のみ】

飲食コーナー
◎手作りこんにやく
◎立寄れおちのイロナ地産さ
【1/28日(日)のみ】

産物直売場
風車市場
庄内町立川(旧庄内) 国道47号線沿い
電話: 755-2211
営業時間: 10:00~18:00

プレゼント!!
その1 1,000円以上お買い上げの方に、抽選で景品が当たる!
(21日までに抽選結果をホームページ上で発表します。)
その2 2,000円以上お買い上げの方に、おれなく景品が当たる!!
(抽選結果をホームページ上で発表します。)

「がんばろう東北!がんばろう山形県!」

広域農道の沿線紹介

眺め良し！

庄内総合支庁の農村整備課では、酒田市の東部を南北に走る広域農道「飽海中央地区」の工事を行っています。

この農道の近くには、松山地域の総光寺(キノコ杉で有名)の奥の院「薬師堂」があり、この展望台から眺める最上川と庄内平野の景色は絶景です。ここから眺めると、真夏の太陽が日本海に沈むとき、『ジュワ〜』という音が聞こえるそうですよ。



「がんばろう東北！がんばろう山形県！」

お引越し

新しい場所で

5月16日、ほ場整備事業「西郷北部地区」の工事に伴い、西郷小学校6年生が生き物の引越し作戦を行いました。少しでも多くの魚を捕まえようと、みんな一生懸命でした。

新しい場所でも元気でいてネ。



「頑張ろう東北！がんばろう山形県！」

おいしくなあれ！

大きくなってね。

5月20日に家根合地区の「メダカ水田」で、庄内町余目第一小学校6年生が、田植えを行いました。

NPO法人家根合生態系保全センターが主催となり、田植え定規で田んぼに印をつけた後、手植えに挑戦しました。

田植えが終わった田んぼは水を張ってから5月30日にメダカを放流します。
この活動は山形新聞、庄内日報にも掲載されましたよ。



地域に花を

農村環境保全指導員(旧温海町)の活動

5月29日鶴岡市木野俣集落で、農村環境保全指導員の佐藤さんと地域住民約15名が、国道345号線沿い(JA福栄出張所近隣)の道路脇と福栄保育園の敷地内にペゴニアの苗300株を植えました。

当日は残念ながら雨で、予定していた福栄小学校の生徒は参加することができなかったのですが、皆さん雨具を着ておよそ1時間の作業となりました。

佐藤さんは地域の方のみならず、その場所を通る方達にも見ていただきたいと話していました。この活動を始めてからゴミが減ったそうですよ。

ぜひ、継続して頂きたいと思います。



「がんばろう東北！がんばろう山形県！」

田植え & 孟宗掘り体験

農村環境保全指導員(旧藤島町)の活動

5月29日に鶴岡市藤島にある因幡堰土地改良区で、「田んぼの学校:田植え&孟宗掘り」が行われました。

幸い、昨夜からの雨も止み、参加者約60名が市内添川での孟宗掘りと改良区隣の田んぼで手作業による田植えを行いました。

山では足をすべらせ、田んぼではお尻まで泥まみれになった人もいましたが、笑顔の絶えない楽しい時間を過ごしました。

お昼はおにぎりと温かな孟宗汁。その魅力に勝てず、クイズもそこそこに箸を進めてしまった私。ウーン！幸せ♪

今後も田んぼの学校第2弾、第3弾…を予定しています。
参加希望者は因幡堰土地改良区までご連絡をお願いします。



「がんばろう東北！がんばろう山形県！」

神秘的

心も澄んで

遊佐町直世にある「丸池様」は、県内唯一の湧水のみを水源としている池です。水がキレイに澄んでおり、倒木が池の中に浮かんでいるように見えます。この池に倒れた木はなかなか枯れないようで、不思議な空間が広がっていました。



「頑張ろう東北！がんばろう山形県！」

犬祭り

ワッショイ!

6月5日(日)鶴岡市大山地区にて『大山犬祭り』が開催されました。昔、村や田畑を荒らして村人を悩ませていた大ムジナを、「めっけ犬」が命とひき替えに退治したという言い伝えにちなんで始まった300年以上の歴史があるお祭りです。

行列はお昼頃から始まり、犬みこしや、この日だけ特別に着飾った女の子達、本物の馬にまたがったお殿様などの他、商店・蔵元ごとの店前につけてお披露目する迫力ある3基の山車などが練り歩きます。

夕方、祭りの最後として、地域を回って来たみこしが相尾神社階段を勢いよく一気に駆け上がるところも見ごたえある光景のひとつです。



特等席からのお祭り見物
(思わず写真を撮りました。微笑ましいでしょ?)

さくらんぼマラソン

参加者からの投稿

6月12日(日)東根市の『果樹王国ひがしねさくらんぼマラソン大会』参加してきました。
(無事10キロ完走！)

過去最多の1万1442人がエントリーし、3キロ、5キロ、10キロ、ハーフマラソン等
自分にあった距離で楽しみました。

今年は第10回記念大会のゲストランナー、Qちゃんこと高橋尚子さん、千葉真子さんと
一緒に走れたのも記念になりました。

レース後は参加賞のさくらんぼとつや姫のおにぎりを食べて、大満足。
来年も参加しますので、地元の皆さん、熱い応援よろしくお願いします。
全国のランナーの皆さん、また元気でお会いしましょう。



ピンクのリストバンドは災害復興支援の「がんばろう東北！～走り出そう仲間とともに～」
というメッセージ入りです。

「頑張ろう東北！がんばろう山形県！」

山菜祭り

農村環境保全指導員(旧朝日村)の活動

6月12日(日)に鶴岡市大鳥で「春の山菜祭り」が開催されました。

午前中は山菜採り、お昼は地元食材を使った山菜料理やそば、うるい等が入ったみそ汁が振る舞われました。新鮮なものを本当においしく頂きました♪

午後からはトレッキングやグランドゴルフ、農園作業に分かれてそれぞれ交流を深めました。

参加してみて、楽しさや満足感を得ることができたので、これからもイベント等に参加したいと思っています。

本活動は「大鳥タキタロウ村」と「鶴岡市大鳥自然の家」の共催で実施しています。

「大鳥タキタロウ村」とは大鳥地区4集落のうち寿岡と松ヶ崎集落の全戸と他地域の地域づくり賛同者から成り立っています。

現在この取組は口コミで広がり、「大鳥タキタロウ村民」は約600名となっています。

興味のある方は「鶴岡市大鳥自然の家」までご連絡をお願いします。



「頑張ろう東北！がんばろう山形県！」

蒸気機関車

珍客

6月18日・19日3時過ぎ、なんと！鶴岡駅に蒸気機関車が停車していました。煙をはきながら停車している蒸気機関車を珍しそうに眺める人々。初めて見る本物の蒸気機関車を見つめる子供達。

いいショットで写そうとカメラ小僧(?)が蒸気機関車の前に群がり、動き出すところを待ち構えるように、ホームの反対側にもたくさんの人たちがいました。

昭和半ばまで走り、その後姿を消した蒸気機関車は、今は貴重な存在になり、昔の勇志を覚えている人たちは懐かしく、昔を知らない人たちは珍しく。現在はその姿を少し替え復活してくれたことにとてもうれしく思います。動く蒸気機関車を見て更に感激し、黒い煙と汽笛とともに走り出すと周りから歓声と拍手が沸き起こりました。

今回の蒸気機関車の切符は早い段階で売り切れたそうですが、機会があったら走っている側の風景も楽しみたいところです。



おしんレース

元気よ届け！

6月19日(日)に開催された「第26回みなと酒田トライアスロンおしんレース」に参加しました。といっても選手ではなく、ボランティアですが…。

東日本大震災の影響で開催が危ぶまれましたが、岩手県・宮城県・福島県では大会の開催が難しいと聞き、被災されたトライアスリート仲間や被災者の皆さんに元気と勇気を与えたい！と実施を決めたそうです。



当日は30度近い暑さのなか、スイム～自転車～ランニング計51.5Kmで白熱したレースが行われました。

今年は「第1回日本U23(23歳以下)選手権」も開催され、国際大会への出場をかけてエリート選手が熱戦を繰り広げました。

また、「ちびっこアクアスロン(水泳とランニング)」では、次代のトライアスリートをめざす小中学生がすばらしいレースを見せてくれました。



表彰式の最後には優勝選手の音頭で参加者全員が「がんばろう、東北！」と復興を願いました。

選手、そしてボランティアの皆さん、お疲れさまでした。



測量競技会

正確さを競いました。

6月24日(金)に「山形県学校農業クラブ連盟平板測量競技会」が庄内農業高校で開催され、当課から3名が審査員として参加しました。

この競技会は、県内3つの農業高校(村山、置賜、庄内)が測量技術を競うもので、現在は平板測量のみで実施されています。

当日は大雨洪水警報が出るほどの悪天候だったため、外での測量作業はできず、室内での製図と計算のみが行われました。

3校から各2チーム計6チームが出場し、1チーム3人で、与えられた座標値をもとに作図し、その図の面積を三斜法と三辺法で計算する競技です。

限られた時間の中でいかに速く正確に作業を行うかの鍵はチームワーク。各チームとも真剣なまなざしでテキパキと作業をしている姿が印象に残りました。

審査は、製図や計算の正確さ、誤差の少なさなど、厳しい基準で行われ、最優秀1チーム、優秀2チームが決定しました。最優秀の庄内Bチームは秋に長崎県で開催される全国大会に出場するそうです。

選手の皆さん、そして準備にあたった関係者の皆さん、お疲れさまでした。



もうすぐ巣立ち

来年も待っています。

我が家の小屋に毎年ツバメが巣を作ります。ここで生まれた子たちが次の年に来ているのだとしたら、親子数代に亘って付き合ってきたことになります。

ついこの間まで、親鳥に「ピー、ピー」と鳴いて餌をせがんでいた雛が、今朝にはこんなに大きくなっていました。



もう飛べるんじゃないの？

そういえば、前に見たときはもっと数が多かったような… 巣立ったのかな？！。

巣立ってもまた我が家に戻ってきてください。幸せと一緒に！

ブナの植樹

農村環境保全指導員(旧羽黒町)の活動

7月3日(日)、鶴岡市羽黒町川代の田代谷地ため池近隣で指導員の五十嵐さんや鶴岡市立羽黒第二小学校5学年児童と保護者、地元関係者、笹川土地改良区、行政が約70名集まり、ブナの植樹作業を行いました。

この活動は平成12年度から行っており、小学校の敷地内で育てたブナの苗木をバケツに移し、現地まで運んで植えました。

児童は植樹作業が終わると、ため池の水をペットボトルにくみ、丁寧に水を掛けていました。最後に各自の名前、木の名前とコメント「ブナスケ 大きく元気に育ってね」などが入った名札を付けて終了しました。

植樹場所の管理や事前準備等についても、多くの地元の方の協力をいただいています。参加してみて、感謝の気持ちでいっぱいになりました。ぜひ、今後も継続していただきたいと思います。



10年後、20年後が楽しみですね♪どのくらい大きくなっているかな？

大鳥池

原始の地にひっそりとたたずむ大鳥池と農業用水

朝日連峰縦走の庄内側の入口に位置する大鳥池は、ブナ原生林に囲まれた標高966m、湖面の長径・南北約1km、深さ68m、湖岸線延長3.2km、湖表面積0.4km²の湖で、大規模な山崩れによる堰止湖とされ、我国では珍しい花崗岩地にある湖です。

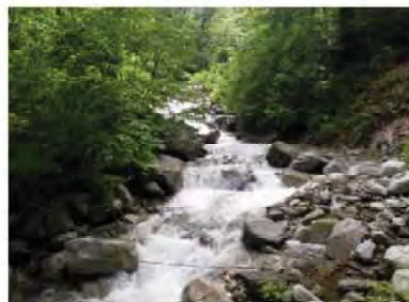
大鳥池は大昔から神秘の湖として伝えられ、女人禁制の域でありました。この人知れず原始の地にひっそりとたたずむ湖には、イワナやヒメマス、それに伝説の巨大魚タキタロウが生息しているとされ、釣りの名所にもなっています。

古くからかんばつに悩まされていた庄内南部の農業関係者は、この山中奥深い湖にも用水源を求め、昭和8年から9年にかけて、湖面を3m嵩上げて114万m³の貯水量を持つ制水門施設を造りました。約8kmの現登山道はこの工事のためにつくられたものです。

築造後50年が経過した昭和59年には、施設の老朽化により崩壊の危険が懸念されることとなったため、県営ため池等整備事業としては改修工事に着手し、7年間の工事期間を経て平成2年に完成しました。

以来20年が経過していますが、この大鳥池の水は、下流水田1万2千ヘクタールの補水として全量赤川に放流され、受益地のかんばつによる被害解消に役立っています。

6月30日、この制水門施設の点検調査のため、施設を管理している庄内赤川土地改良区職員らとともに、大鳥池に行ってきました。片道3時間の山歩きでは、数日前の大雨で登山道が流されていたり、雪渓に大きなクレーパスができていたりといくつかのアクシデントがありましたが、それでも息をハアハアさせながらこの施設を造った人たちに思いを馳せ、その道の傍らには山野草が咲き誇っていて、なんとも楽しい山歩きでした。



川遊び

笹川土地改良区の活動

7月12日、鶴岡市羽黒町荒川地内の笹川第2揚水機場で、泉幼稚園児22名が川遊びを行いました。この活動は、土地改良区21世紀創造運動の一つとして毎年行われています。

今年は去年より暑く、川の水量も少ない状況でした。

川遊びの後は、笹川土地改良区女性職員手作りの米粉のブランマンジェと蒸しケーキが振る舞われました。

本改良区では昨年度から米粉料理にも取り組んでいて、前日の準備も時間がかかったそうです。米粉も購入先によって粒度が違うためか、出来映えも変わってくると話していました。

来年もスタッフとしてお手伝いできればと思いました。



鳥海山火合わせ神事

五穀豊穰を祈ります。

7月14日に鳥海山の火合わせ神事が行われました。鳥海山の山頂と中腹の御浜、吹浦、そして飛島(小物忌神社)の4ヶ所で同時に火を焚き、その火の見え方でその年の五穀豊穰を占うそうです。

午後7時過ぎに大物忌神社吹浦口ノ宮を出発した神輿行列は吹浦港までしずしずと巡行し、獅子舞、巫女舞などの神事が行われた後に、かがり火が焚かれました。今年も豊作になることを願いながら、燃えさかる炎を見つめました。



夏空！

梅雨明けです。

いきなり、本当にいきなりという感じで梅雨が明けました。
山形県では観測史上4番目の早さだそうです。(なんとなくピヨウ～)
国を挙げて節電に腐心している状況下、もっと遅くても良かったかと思う一方、
きれいな空が広がる風景をみると、なんとなく心も弾みます。

川に脚を入れているだけで少し涼しくなれます。海やプールに行ったり、
仲のいい友達と互いの家を行き来しながら、楽しく節電したいと思います。
(SPF50 PA+++でしっかりガードよ！)



入道雲もモクモクと



梅雨明けした日の夕焼けです

土門拳記念館のあじさい

あじさいまつり

酒田市飯森山公園にある土門拳記念館の白鳥池周辺には、94品種、約15,000株のあじさいが植栽されています。毎年6月下旬から7月上旬には「あじさいまつり」も開催され、多くの人で賑わいます。

今年は咲きはじめが遅かったせいか、ちょうど見頃の品種もあり、鮮やかに咲きほこっていました。池の白鳥も目を細めてあじさいを眺めていたような…。

土門拳記念館では現在、第30回土門拳賞受賞作「コロナ」(石川直樹氏)の展示が行われています。あじさいと一緒にすばらしい写真を鑑賞してみませんか。



暑さしのぎ

涼しい遊び場

遊佐町の高瀬小学校前の水路で、暑さを避けるかのように、子供が遊んでいました。この水路は、ほ場整備事業を行なう際に、児童が水車と、魚が泳ぎ回る水路のイメージ図を書き、遊佐町と地元の方々の夢が実現したものです。

ここ庄内地方でも、梅雨明けからほとんど雨が降らず、暑い日が続いています。ツルツルの石で転びそうになりながらも、鯉を見つけるとは走り回ったり、子供達は元気に遊んでいました。



酒田農林水産加工品フェア

JA庄内みどりの店内にて

7月23日、酒田市曙町にあるJA庄内みどり店内で、「農家が育てた庄内農林水産加工品フェア」が開催されました。

このフェアは農山加工品のPRと消費者ニーズを把握することで、今後の商品づくりの参考とするために開催されています。

庄内の農産物を利用して加工品を作っているグループが集まり、そばアイスやしそジュース、米粉パン、つや姫うどん、キビ餅、とちの実ドーナツなど各種販売していました。

通常であればそれぞれの販売場所に行くなどしないと買えない商品が1カ所に集まり、直接販売者と会話をしながら買えるので、とても親近感がわきます。

次回は皆さんもぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。



農山漁村づくり情報誌創刊！

農楽里 norari

農山漁村づくりに関心のある方、参加してみたい方たちを対象とした、手作りの地域情報誌「農楽里 norari」が県庁農山漁村計画課から発行されました。

フリーマガジン(タダ)となっていますので、是非ご覧下さい。
詳しくは、庄内総合支庁農村計画課までお問合せください。



庄内の水源を知ろう！ Part 1

遊佐地区(月光川水系編)

月光川(がっこうがわ)水系にまつわる水源調査を行いました。月光川水系は遊佐町一円を流域としています。河川その他、鳥海山からの湧き水もあちらこちらで見られます。遊佐町にとっては月光川の治水や利水がとても大切で、切っても切れないパートナーの関係といったところでしょうか。



[月光川(頭首工)]

遊佐町の約4割の耕作地に水を供給します。この時期の月光川本川の流量は最近の日照りの影響からか、わずかに滞筋(みおすじ)を流れる程度で非常に少ない印象を受けました。



[小水力発電の試験]

遊佐中学校の脇を流れる水路では、農業用水路を利用した小水力発電の試験を行なっています。水路を流れる水で水車を回し、その電力で駐輪場付近の4基のLED外灯を点します。

[牛渡川]

湧水が流入してできているこの川は非常に澄んでいて、梅花藻(バイカモ)という水草がきれいに花を咲かせており、水になびく様子は見ているだけで涼しくなります。秋にはサケが遡上し、サケの孵化事業が行なわれます。

牛渡川のすぐそばには湧水を水源とした丸池様と呼ばれる池があります。エメラルドブルーに透き通っていて、下からごぼごぼと豊富に水が湧いているのが見えます。(HP6/3「神秘的」を参照下さい)



[神泉の水]

秋田県境付近、女鹿地区には神泉(しんせん)の水があります。豊富な湧水が縦に6つ並んだ水槽を順々に流れていきます。6つの水槽を上手に利用し、食べ物や衣類などを洗ったり、みんなが集まる地域の人々のふれあいの場としてもこの集落には欠かせないものになっているようです。

水も冷たくておいしく、この日は、スイカやカキが冷やされていました。



〔四郷沼ため池〕

四郷沼ため池は農村整備課による事業でH18年度に完成しました。
南に鳥海山、西には日本海をバックに畑地が広がる絶好のロケーションで
この地区には庄内でも珍しいといわれている円筒分水があります。
人の手を加えずに定比率の分水ができる施設として、先人の方々の知恵が
感じられました。



〔高瀬峡〕

最後にご紹介するのは月光川に合流する一次支川高瀬川の源流となる高瀬峡です。
駐車場から4、50分歩くと大滝にたどり着きます。10m以上はあるかと思われる高さからの
水の落ちる様は圧巻です。
高瀬峡には他にもさまざまな滝もあるようで、新緑、紅葉の時期にも改めて来てみたいものです。



他にもダムやわき水など紹介したい施設があるのですが、本日のところはここまで。
鳥海山の麓ならではの水利用が感じられる本水系について、改めて学ぶことができました。
今後、日向川水系や最上川水系、赤川水系も報告したいと思います。

「頑張ろう東北！がんばろう山形県！」

ひゅ～～～、どん！

花火大会(in遊佐)

7月30日、県内で今年最初の花火大会が開かれました。
場所は、遊佐町の西浜海水浴場。

この日の夜は、さわやかな風が吹く絶好の花火日和でした。
海水浴から引き続き見ている人、バーベキューを楽しみながら歓声を上げる家族連れなど、子供からお年寄りまで多くの観客が、夜空に咲く大輪を堪能しました。

遊佐の花火大会が始まると、一段と暑さが増し、夏祭りも本格的になっていくのがここ庄内では恒例となっています。

今年の大会は、3.11東日本大震災の被災者を激励する意味もこめて行なわれ、最後は「頑張ろう東北！」を全員で唱和して感慨深い大会が幕を閉じました。

岩手、宮城、福島の方々にもこの声援が届いてほしいと願い、屋台の焼き鳥を脇目に、グッと我慢し家路についた私です。



実際はとても綺麗でした。

稲の花が咲きました

暮坪の近況

8月4日、鶴岡市暮坪の棚田に植えられたイネが花を咲かせていました。

この日は、気温30度を越える熱い日で、海水浴をする人たちが歓声を上げる海辺から棚田に向かいました。

途中、軽トラックが作る影で「いっぶく」する農家の方々ともお会いしましたが、皆さん顔が赤らんでいました。熱中症にならないでと祈りながら、東屋のある場所まで上ると、春に地域をあげて手植えた田んぼでは、イネの花が咲きそろっていました。

9月には、また地域の子供からお年寄りまで協力して手刈りをする事となっています。手刈りして、杭掛けをしたい人は、連絡をお願いします。

また、これからの時期、棚田から見る夕焼けがとてもきれいなので見に来てください。



今でも続く「焼畑」

焼畑あつみかぶ体験ツアー

8月7日、「焼畑あつみかぶ体験ツアー」に県内外から参加された方は、江戸時代から続くといわれている農法を体験しました。皆さんは、燃え残しがないよう熱風にも負けずに火に近づき、順調に作業を進めました。

場所は『あつみかぶ』の栽培が盛んな鶴岡市一霞(ひとかすみ)という場所です。あつみ温泉から車で7～8分東に進んだところにある集落です。ここ庄内では知らない人はいないだろうと思われる『あつみかぶ』ですが、産地で最も名前が知られてる産地でもあります。

「体験ツアー」は一霞集落の若者が中心となって企画し、今年初めて実施したところ、東京都や茨城県からも参加していただきました。

事前の丁寧な説明、指導もあり、約1時間で600m²ほどの畑は黒こげになり、地元の方々から「いい感じに焼けた！」と高い評価をいただきました。焼いた後は、すぐ種を巻き、雨で流されないようにして作業は終わりです。今回は初心者向けの緩斜面で行なったとのことですが汗が止まらない状態でした。暑い夏の中、急斜面での大変な作業によって、美味しいかぶが出来ると実感しました。

説明では、10a(約1000m²)で約1,000kgの収穫が期待できるとのことでした。1区分分のかぶが全部手元に届くということで、作業された方は今から収穫が楽しいなことでしょう。

お盆にかけて、この焼畑は続きます。また、鶴岡市内で作られている「藤沢かぶ」もお盆後くらいに行なわれますので、ダイエットしたい方など、見学にいらしてはいかがでしょうか。



焼いている様子(近づくと暑い)



焼いた後の様子



種まきの様子(ほんとにバラバラ程度)



冬にはこのように美味しい漬物になります

魚つかみ取り

藤島夏祭り 魚つかみ取り

8月7日(日)に藤島夏祭りで魚つかみ取りが行われました。
場所は藤島体育館北側せせらぎ水路で参加総数約650名でした。

午前中は参加者がケガをしないように水路内にある石を取り除く作業を行い、昼からの本番を迎えました。

子供たちは魚をつかみたいのに逃げられ、ばしゃばしゃ追いかけたり、

つかまえてもヌルヌルして捕獲できなかったりと、いろいろな様子がうかがえました。みているほうも楽しくなりましたよ♪

来年も実施予定のため、参加または見学してみたい方はいかがでしょうか？



希望の光

花火大会 in 赤川

8月10日(水)鶴岡赤川河川敷にて花火大会が開催されました。

開催前に雨が降り、開催が危ぶまれましたが少し前には晴れて開催へ

花火が始まる少し前にはパラグライダーが、メッセージをつけながら飛び再び日本国旗をつけ会場を沸かせ、いよいよ暗くなるとともに始まりました。

時々雨に降られながら、順調に花火はあがり、今年は震災後の”希望の光”
とういうことか、いつもより大きな花火があがったような気がします。

最後に被災した子供たちの声により震災の思いが放送され、花火が打ちあがり
今年の花火は特別な思いによって終わりました。



そばの種まき

いい汗かきました。

8月7日、鳥海南麓そば栽培グループの「そばオーナー畑」で種まきが行なわれました。「そばオーナー畑」も今年で10年目を迎え、地元をはじめ県内外から多くの方が参加しています。

酒田市山楯にある見晴らしのいい畑に今年は30畝のそばを作付けしました。はじめに肥料をまき、続いて小さなそばの種を丁寧に蒔いていきます。最後に足でうすく土をかけて出来上がり。

作業が終わった後は冷えたトマトとキュウリをごちそうになり、参加者は大満足でした。9月上旬には白い花が見頃になるので、そばの花見にいらっしゃいませんか。



ひまわり畑

一面に！

鶴岡市羽黒町上川代のひまわりが見頃です。
ここは地元の方が不作付け農地を借りて種をまいた所です。

同じ方向を向いて咲いている様子は見事！
庄内だけでなく、県外ナンバーの車もみられました。
こちらではひまわりのお持ち帰り企画もあるようですよ。

近隣には月山高原牧場や庄内映画村オープンセットもあり、観光スポットの一つとして
皆さんもぜひ足を運んでみてください。



かき氷もおいしかった♪ ジュルッ。

ヒマワリ畑の場所はこちら [👉](#) [簡単な地図 \(PDF 40KB\)](#)

いっぱいいるね

つかまえた～♪

8月30日、鶴岡市羽黒町上野新田にあるため池で、鶴岡市羽黒第四小学校の全校生徒26人が生き物調査を行いました。

ここでは、県が老朽化したため池の改修工事を行う前に、工事によってため池にすむ生き物への影響をなるべく少なくするため、生徒と一緒に生き物の引っ越し作業を行っています。

今回は工事が完了したので引っ越し前にいた生き物が工事後も生息しているか確認のため調査を行いました。

子供たちはフナ、ハヤ、ミズカマキリやドジョウなどたくさんの生き物を見つけ、大はしゃぎしていました。多くの生徒から楽しかったとの感想を頂きました。



このほか、学校近くの田んぼにどのように水が流れてくるのか学習するため、頭首工や水路トンネルなどの施設見学も行いました。

田んぼに水がくるまでには、施設を管理したり、いろいろな人達が関わっていることを学べたようです。



今後もこのような自然との触れ合い学習を大切にしていきたいですね。

秋の棚田です

秋ですね～

山形の棚田20選に選ばれている、鶴岡市越沢と鶴岡市大網の棚田の様子です。越沢には棚田の他、郷清水という湧き水が出ている所があります。周辺は整備され、水を飲むこともできます。トレッキングの休憩場所としても利用されています。どちらの場所もきれいな水で育った黄色くなった稲が穏やかさを感じさせてくれます。平野部も鳥海山をバックに見事ですね。



越沢の棚田



郷清水



大網の棚田



平野部の様子

このような農村風景は、耕作する人がいて成り立つもの。耕作する人がいなくなれば荒れ地になり、自然環境も変わってしまいます。せっきくの資源をなくさないよう考えてみることも必要なのではないのでしょうか？

植樹体験

生長を楽しみに！

9月11日(日)、鶴岡市大鳥で、因幡堰土地改良区が主催となり、ブナとナラの苗木を植える植樹体験が行われました。

参加者は約50名で、庄内赤川土地改良区や出羽庄内森林組合、土地連の協力により、ケガもなく無事に作業を終えることができました。

親子での参加が多く、各自名前を書いたプレートを植えた苗木に付けて完成。また大きくなったら見に来てくださいとの言葉を頂き、子供たちも暑い中満足だった様子です。



因幡堰土地改良区で行っている各種行事に参加したい方は、因幡堰土地改良区にお問い合わせください。

加茂のまち歩き

歩いてみよう。

9月18日に鶴岡市加茂で、地域住民の方々、東北公益文科大学の先生と生徒、鶴岡市、県が一緒になり、地域資源を再発見しようということで、まち歩きを行いました。

約30名が参加し2班に分かれて、自分が友達を呼ぶことを想定し、喜んでくれる場所、施設を考えたり、「以前と変わってしまったところ」といった点などに着目して、写真を撮りながら地域を歩いてみました。



まち歩きの様子



まち歩きの様子



加茂神社からの眺め



まとめ作業

まち歩きから戻ると4つの班に分かれ、よかったところや変わってしまったところなど地図にシールを貼り、選んだ理由や感想を貼り付け、班毎に発表を行いました。

地元の方でもなかなか観ることがない施設を見学できたり、新しい発見により、よいところは皆に観てもらいたいといった意見や、何十年ぶりに来て、こんなに景色が良いとは知らなかったなどといった感想がありました。

このように地域の魅力を再認識することで、地域を盛り上げていこうという意識が高まっていけばいいなあと思います。

今後はこの結果を活用して、住民が地域以外の人を案内できる地図を作成する予定です。

復興への想い

参加者からの投稿

9月18日(日)仙台市で行われた「第6回みやぎ・やまがた地域を超えてチャレンジする女性の交流会」に初参加しました。

今回が6回目ですが、東日本大震災後初めての開催であり、復興に際し、女性の視点からどのような支援が出来るかがテーマになりました。

参加者は「宮城・山形両県の女性ならどなたでも」ということで、震災で被災した方、被災者支援に携わっている方、報道に関わっている方、自分がこれからどう支援していけるか考えたい方など、今置かれている状況、職業、年齢もさまざまで、第2部のフリートークでは、復興にかける熱い思いを語り合いました。(時間が足りません。。)

その中で特に印象深かったのは、この震災で、東北が、日本が試されてる。人と地域との絆を持ちながら、今までのあたりまえだった生活を反省し、どのような生活をしていくべきか考える機会となっている、ということでした。

また、困難な状況に関わらず「歩みを止めずに前に進む。進めば必ず何かはあるはず。」という(女性特有の?)力強さに、私の方が元気をいただきました。

そして最後に、次回開催地の吉村山形県知事のDVD応援メッセージ。

次に会うときまでは、元気な女性パワーで、もっと復興が進んでいますように。



9月25日(日)鶴岡市暮坪の棚田(やまがたの棚田20選)で稲刈り体験が行われました。地元園児、小学生、大人約25名程が一緒になって手刈りと杭掛けを行いました。

なかなか見られなくなった杭掛けは、大人でも分かる人にやり方を教わりながら、稲の向きなどに注意して、1本の杭に50束を目安に積み上げていきました。

子供たちは最初競い合うように刈っていき、途中虫に夢中になったり休憩も入りながら「はえぬぎ」と「ひめのもち」の2種類の稲刈りを終えることができました。



この日は下の田んぼでも杭掛けが行われていて、これから稲刈りをするところには杭掛け用の杭が立っている状況でした。

ここは「やまがたの棚田20選」に選ばれてから、カメラマンなど写真を撮りにくる方も多くなっています。皆さんも1度足を運んでみてはいかがでしょうか？

七五三掛の稲刈り

”七五三掛で3年ぶりに稲刈りができたよ”

いよいよ七五三掛地区の稲刈りが始まりました。
春に2年ぶりに田植えした稲が立派に実り、5条と4条刈りのコンバイン2台によって「ひとめぼれ」を急ピッチで刈り取りました。

当日(9月27日)は、絶好の稲刈り日和で東に見える「霊峰;月山」も七五三掛から稜線がクッキリ見え、営農再開を祝福しているようでした。

また、この日はYTS(山形テレビ)で取材に来ていて、「七五三掛集落の今～災害を越えて営農再開～」を近々放送するようです。

